

題名	分類番号	時間	内容
哀愁(日本語字幕)	DVD-110	108分 モノクロ	第一次世界大戦下のロンドン、空襲の時ウォーターール橋で出会う運命の二人、英国将校のロイと踊り子マイラの悲恋を描く。
青葉学園物語	DVD-71	100分 カラー	ベストセラーとなった吉本直志郎の同名小説が原作の児童映画。戦争で親を亡くした子どもたちが6つの寮に分かれて生活している養護施設『青葉学園』。戦後の辛く貧しい生活にも負けず、人間として一番大切な優しさや思いやり、人と人のかかわりのルールを体得しながら成長していく子どもたちの姿を描く。
アゲハがとんだ —1945・3・10東京大空襲— (日本語字幕付き)	DVD-100	20分 カラー アニメ	この物語は、学童疎開先のどかな情景から始まります。子ども同士の争いはありますが、心の底では理解し合っていて、絆が結ばれています。卒業式のために東京に戻った主人公たちは、3月10日の午前0時過ぎ、東京大空襲に見舞われます。前半の暖かい日差しの中かの情景と、後半の激しい空襲のシーンが印象的に描かれています。作品の途中には、学童疎開の様子や軍楽隊の行進、燈火管制の状況、焼夷弾の説明など、教材として取り上げたい重要な要素もふんだんに盛り込まれています。
あなたはこの真実を知っていますか? 戦争・抑留・引揚げ ～平和祈念展示資料館を訪ねて～ (解説字幕選択可)	DVD-39	31分 カラー	三倉茉莉、三倉佳奈が、平和祈念展示資料館を詳しく解説する。戦争体験の労苦を広く知るためのビデオ作品。
アニメ「ひめゆり」(英語字幕つき)	DVD-63	約30分 カラー アニメ	子どもたちにひめゆり学徒隊の沖縄戦体験を伝えるため、学徒隊の生存者の証言をもとに、ひめゆり平和祈念資料館が制作した。絵と語りでわかりやすくまとめた作品。楽しい学園生活を過ごしていた女学生たちが沖縄陸軍病院へと動員され、兵士たちの看護活動や解散命令後に南部でさまよう様子などが描かれている。
あの日—この校舎で ～五十年前に被爆したナガサキの記憶～	DVD-118	30分 カラー	被爆直後の長崎で救護所に当てられていた小学校で、大勢の被爆者を看護した医療従事者たちや、惨状を目撃した当時の小学生の生々しい証言をまとめた短編記録映画。「原子爆弾の効果」という専門家による当時の記録フィルムを活用しながら、原子爆弾がどのように人間を殺傷し、人類の生命と尊厳を傷つけたのかを貴重な証言映像でつづっていきます。
アフガニスタン・バグマン村の物語 せかいいち うつくしい ぼくの村	V-54 DVD-113	17分 カラー アニメ	戦乱が相次いだアフガニスタンを舞台に、その地に暮らす少年ヤモの生活を追うことで国際理解の視点から広がりのある異文化世界を展開します。
アフガニスタン・バグマン村の物語 ぼくの村にサーカスがきた	DVD-114	15分 カラー アニメ	舞台はアフガニスタン。少年ヤモが暮らす村にサーカスがやってきます。異国情緒溢れるサーカスの情景や村の風景を活写し、アジアの異文化世界を描くことで、国際理解の視点を養います。
アフガニスタン難民 平和を知らない子どもたち	V-58	18分 カラー	米同時多発テロをきっかけに米英軍がアフガニスタンを攻撃。アフガニスタンは戦火に包まれました。しかし、アフガニスタンでは20年以上戦争が続き、難民となって人々がパキスタンなどに逃れました。1999年～2002年の難民キャンプでのインタビューと資料映像で構成。
アフガニスタン 用水路が運ぶ恵みと平和	DVD-106	本編30分 技術編33分 カラー	戦乱と干ばつの地・アフガニスタンで中村哲医師とアフガン人スタッフは「緑の大地計画」を企画。1,600本の井戸を掘り、さらに独自の灌漑方式で長大な農業用水路を建設しました。砂漠化し荒廃した土地15,000ha以上を甦らせたプロジェクトを、アフガニスタン全土に拡大できるよ、日々奮闘し続けています。恵みと平和を運ぶ用水路群がどのようにして建設されたのか。知られざる技術にも焦点をあてた、中村医師による「干ばつと戦乱」との闘いの記録です。
ある証言「シベリア捕虜収容所」	V-2	30分 カラー	1945(昭和20)年8月15日、ポツダム宣言受諾による日本軍の無条件降伏を境に、軍事捕虜として、ソビエト連邦、特に、シベリアの各地に抑留され、極寒と栄養失調によって死線をさまよい続け、九死に一生を得て祖国に引き揚げてきた、シベリア抑留体験者の証言です。
ある証言「満蒙開拓団」	V-1	30分 カラー	満蒙開拓移民として、筆舌に尽くせぬ苦難をなめ、九死に一生を得て故国に帰った人々は、自らが体験した「思い出したくない過去」について、やっと、重い口を開いて語りはじめました。それは、「二度と繰り返してはならない」との私たちへのメッセージなのではないでしょうか。私たちすべての日本人にとって、この満蒙開拓の悲劇は、「絶対に忘れてはならない」民族の歴史なのです。
いさばわらび 戦場ぬ童	DVD-59	26分 カラー	1フィート運動推薦 沖縄戦40周年記念記録映画。沖縄本島読谷村にそびえる座喜味城跡。この古琉球の遺跡に立つと、真っ青な東シナ海をバックにして米軍の通信基地“象のオリ”が目にとまる。思いは40年前、この海から米軍が上陸してきた日のことへと走っていく。“象のオリ”の真下には巨大な洞窟が暗い口を開いて、そこはもう、地獄の戦場の跡だ。集団自決の現場、散乱する遺骨と遺品。そして……。記憶は3か月に及ぶ“鉄の暴風”をかいぐり、島の南端に追いつめられていった戦場の子どもたちの足跡をたどっていく。しかし、“戦さ世”はそこで終わったわけではない。かつて、日本軍が本土防衛の“捨て石”にした島を、米軍は“太平洋の要石”につくり変えてしまったのだ。沖縄では今でも毎日のように戦場さながらの軍事演習が続いている。思いはいつしか、眼前の“象のオリ”にまよいどってくる。核戦争用のレーダー基地と沖縄戦の洞窟壕。この奇妙な沖縄風景を背にして無邪気に遊びまわっている子どもたちに、いったい未来はあるのだろうか。
石の声 —沖縄戦マリア地獄の記憶—	DVD-60	24分 カラー アニメ	47年前の沖縄戦では、弾雨によって20万人余の尊い命が奪われた。しかし、沖縄戦の犠牲者はそれだけではなかった。当時八重山諸島では、軍名による強制退去が強行され、その結果マリア地獄が引き起こされたのである。日本最南端の波照間島は家畜の多い島だった。1945年4月、日本軍はその食料調達のため、波照間の島民一人残らずマリアの蔓延する西表島へ強制移住させた。そのため、殆どの人々が罹患し、島の人口の3分の1が犠牲になった。この作品は、ふるさとを奪われ殺されて行った多くの人の嘆きや怒りを、子どもたちを中心に描いたレクイエムである。
市原悦子朗読ライブラリー (戦争童話シリーズ)	DVD-33	47分 カラー	第一話 ちいちゃんのかげおくり 第二話 「戦争童話集」年老いた雌狼と女の子の話
命のピザ	DVD-21	115分 カラー	1940年ナチスドイツが台頭するヨーロッパ、リトアニアで追い詰められていたユダヤ難民を日本通過のピザを発行することにより、人道的行為を実行し、6000人の命を救った日本領事のドキュメンタリードラマ。
いわたくんちのおばあちゃん ～ぼく、戦争せんけえね～	DVD-22	20分 カラー アニメ	現代の小学生寛太がおばあちゃんに原爆や戦争の話聞き、自分の問題としてとらえ、平和への決意をしていく。昭和20年の広島で起こった実際の話がもとになっている。
いわさきちひろ ～27歳の旅立ち～	DVD-66	96分 カラー	絵本作家いわさきちひろの知られざる人生を貴重な証言で綴る、初のドキュメンタリー作品。不幸な形で夫と死別。戦争で家は焼き払われ何もかも失った人生のどん底。大恋愛の末の再婚、失業中の夫を支えた過酷な日々、病に倒れ、命を削りながら平和への想いを絵筆に込めた最期まで、ちひろはどんな時も決して諦めなかった…。

海ーいまとマホークがー	V-30	13分 カラー	核巡航ミサイル「トマホーク」が、日本に出入りする米軍の艦船に積まれています。日本の海が危ない。核巡航ミサイルとはなにか、「トマホーク」とはなにか。難しい解説めきで目で見てすぐに理解できる映像です。
ウミガメと少年	DVD-19	45分 カラー アニメ	平和だった沖縄が激戦地となったため、テツオは疎開することになりました。疎開先で友達になったノリオと花子と楽しい日々を過ごしていたある日、米軍の空襲が激しく、テツオの目の前で二人は命を奪われてしまったのです。一人でガマ(自然壕)に逃れたテツオ。ふと浜辺を見ると、砲撃の中、産卵するウミガメが…。ノリオと花子と「いつか一緒に見よう」と約束したウミガメの産卵。その卵を砲撃の犠牲にならないようにとガマへ移し、孵化するよう大事に育てていくテツオでしたが…。
海ゆかば	DVD-23	106分 カラー	真珠湾急襲からレイテ沖海戦までの凄惨な死闘の実相を米国防総省の未公開カラーフィルムで綴る名もない《水漬く屍》たちへの鎮魂の記録である。戦史的にも価値の高いドキュメント。
エイジャン・ブルー浮島丸サコン	V-35	111分 カラー	1945(昭和20)年8月24日、青森での厳しい労働から解放され、帰国の途にあった数千人の朝鮮人たちを乗せた輸送船、浮島丸が京都・舞鶴湾で爆沈しました。戦後50年を経て、在日韓国・朝鮮人の大学講師・林は、教え子の姉妹とともに当時を知る人々の話を聞いていくうち、彼らのおかれた過酷な環境を追体験します。平安建都1200年を市民が問い直す映画を作るべく、京都市民が始めた製作支援募金運動に支えられた作品。“戦後50年を問う”という視点が貫かれ浮島丸事件を通して加害の痛みと反戦の重さが伝わります。
煙突屋ペロー	V-37	23分 モノクロ 影絵アニメ	トム・タム国の煙突屋ペローは、鳩を助けたお礼に「兵隊の出る卵」をもらいました。ペローは王子様の乗る汽車を壊してしまい、死刑を宣告されます。ちょうど戦争が始まり、ペローは「兵隊の出る卵」を使って手柄をたて、許されて田舎へ帰ることになりました。しかし、その帰り道、ペローの見たのは痛ましい戦いの傷跡だったのです。
大阪市戦後70年記念事業 みて・きいて・つたえたいへいわ 地域の戦後70年アーカイブス DVDセット(映像6本、資料2本)	DVD-62	約5時間 カラー	大阪市では、戦後70年の節目を迎える平成27年度に戦後70年記念事業を実施しました。この映像集は、戦争を知らない若い世代に戦争の悲惨さや、命の大切さを伝えていくために、港区・淀川区・東淀川区・東成区・旭区・阿倍野区(住吉区・西成区連携)・平野区において、戦争体験者の貴重な生の声などを収集し、記録化したものです。皆さんも、映像を通して、あらためて平和について考えてみませんか？
大阪大空襲証言者セット(5本)	DVD-12 V-51	約3時間 カラー	大阪大空襲の体験者たちの証言が集められた作品。5巻セット。
大阪大空襲一焼きつくされた大阪の街ー	DVD-3	35分 カラー	終戦直前、大阪が廃墟と化した米軍撮影のフィルムがあります。長い平和と繁栄の中で、私たちはたとえれば平和のありがたさを忘れがちです。現在の平和が過去の戦争の大きな犠牲の上に築かれたことを思い起こし、「大阪大空襲」を永遠の平和の原点として訴えます。
大阪に残る戦争の傷あと全編	V-7	50分 カラー	大阪は1944(昭和19)年12月から1945(昭和20)年の終戦の前日までの半年間に、50回を超える空襲で一木一草残さぬ焦土と化しました。その空襲の中を幸運にも生きのびた人々の生々しい体験を通して、戦争の悲惨さと平和の尊さを語りかけます。第1部と第2部をまとめたものです。
大阪に残る戦争の傷あと第1部	DVD-1	30分 カラー	大阪は1944(昭和19)年12月から1945(昭和20)年の終戦の前日までの半年間に、50回を超える空襲で一木一草残さぬ焦土と化しました。その空襲の中を幸運にも生きのびた人々の生々しい体験を通して、戦争の悲惨さと平和の尊さを語りかけます。第1部では、主に大阪府内に残る戦争の傷あとを紹介しています。
大阪に残る戦争の傷あと第2部	DVD-2	25分 カラー	大阪は1944(昭和19)年12月から1945(昭和20)年の終戦の前日までの半年間に、50回を超える空襲で一木一草残さぬ焦土と化しました。その空襲の中を幸運にも生きのびた人々の生々しい体験を通して、戦争の悲惨さと平和の尊さを語りかけます。第2部では、主に大阪市内に残る戦争の傷あとを紹介しています。
おかあさんの木	DVD-55 (デッキ再生推奨)	22分 カラー アニメ	戦場に7人の息子を送り出した母親は、彼らが手柄を立てて無事に帰ってくることを祈りますが…。平和を願い、子を思う母の愛をみんなで考えていただきたいと思います。
おかあちゃんごめんね	V-19 DVD-48	26分 カラー 人形アニメ	大阪の古い町、堺。泣き虫の絹ちゃんも体の弱いお母さんと小さな赤ちゃんのみち坊と3人暮らし。毎晩のように続く空襲は、日本中の大きな町を焼け野原にしていきました。7月10日夜、B29の大編隊。大阪の町に降る雨のような爆弾。火の海は絹ちゃんた親子3人にも容赦なく襲ってきます。お母さんはこん身の力をふりしぼって逃げようしますが力がついて動けません。3人で一緒に逃げようとする絹ちゃん。その時、炎の中でお母さんがとった行動とは…。
おこりじぞう	V-20 DVD-49	28分 カラー 人形アニメ	日本がまだ戦争をしていた1945(昭和20)年、広島に住むひろちゃんは「わらいじぞう」と呼ばれる笑い顔のお地藏さんと大のなかよし。8月6日、その日はひろちゃんの6回目の誕生日、そして運命の日でした。柱時計が朝8時15分を指したその瞬間ピカッと光ると同時にものすごい音と大爆発。「みず…おかあさん…みずちょうだい」とわらいじぞうにすがっているひろちゃんの背中中、大やけどです。その時、いつもにこにこしていたわらいじぞうの顔が…。
おじやる丸 ちっちゃいもの大きなちから ※「指導のポイント」(PDF資料)付	DVD-101	11分 カラー アニメ	おじやる丸とちっちゃいものクラブのメンバーたちは、小さな水たまりにおぼれていたアリを助けたことがきっかけで、人助けに繰り出す。それぞれのできる範囲で人助けを行い、互いに活躍ぶりを報告した。そこに、子鬼トリオが現れ、おじやる丸の大切なシャクを奪う。逃げ切ったと思った子鬼トリオだったが、突然落ちてきた丸太の下敷きになる。みんなは助けようががんばるが…。
お星さまのレール ※バリアフリー版(副音声・日本語字幕付き)ご希望の場合は予約時にお申し出ください。	DVD-74 (デッキ再生推奨)	76分 カラー アニメ	1940年朝鮮の北、新義州。主人公チコは、お父さん、優しいお母さん、妹のミコ、お世話をしてくれる朝鮮人のお花ちゃんと暮らしていました。しかし、戦争のためチコのランドセルは赤ではなく国防色でした。チコの周りで起きた「戦争」でした…。女優の小林千登勢さんの体験をもとに、平和と家族の絆の尊さを描いた感動の作品。
核戦争後の地球 第1部 地球炎上 (大阪府内のみ貸し出し)	V-33	30分 カラー	全面核戦争がおこったら、あなたはどうなるか、そして日本は、地球は…。原子爆弾開発後の膨大な研究と100人を超える科学者の協力を得ると共に、最新の映像技術を駆使して、核戦争勃発後の地球と人類の姿を描いた作品。「地球炎上」では1メガトンの核弾頭が東京に落ちた時、その破壊力によって1,000万人の人たちがどんな体験をするのかを描きます。
核戦争後の地球 第2部 地球凍結 (大阪府内のみ貸し出し)	V-34	30分 カラー	全面核戦争がおこったら、あなたはどうなるか、そして日本は、地球は…。原子爆弾開発後の膨大な研究と100人を超える科学者の協力を得ると共に、最新の映像技術を駆使して、核戦争勃発後の地球と人類の姿を描いた作品。「地球凍結」はその後の地球・放射性降下物と地球凍結による恐怖を描きます。迫真の画面が私たちにどうしたらよいか、平和の尊さを強く訴えます。
かっぱのすりばち	DVD-96	20分 カラー アニメ	むかしむかし、方貝川にかっぱの親子が住んでいました。子がっぱのかんきちは、村の子供たちと仲良くなり、遊びながら素潜りを教えてあげました。しかし、一人だけいつもでも潜れない庄屋の息子、じんろくがいました。一人で練習するじんろくは、不幸にも水死してしまいます。この死をきっかけに村人たちは…。かっぱの親子が織りなす、無償の愛の物語。福島県内の小学校の元校長先生による創作民話であり、かけがえのない命、ゆるし受け入れることの大切さについて考えさせられます。

ガラスのうさぎ	DVD-81	83分 カラー アニメ	太平洋戦争末期、東京下町に住む少女・敏子は母と二人の妹を失ってしまいます。焼け跡から、空襲の猛火で形が変わったガラスのうさぎを掘り出した敏子は、戦争の恐ろしさを目の当たりにします。更に疎開の途中、駆で米軍機の機銃掃射を受け、父までも亡くしてしまいました。たったひとりになった敏子は、絶望の果てに死を見つめ深夜の海辺をさまよいますが、「私が死んだら、お父さん、お母さん、妹たちのお墓参りは誰がするの。私は生きなければ…」と孤独と悲しみの中で、心を奮い立たせるのでした…。
かんからさんしん (大阪府内のみ貸し出し)	V-15 DVD-30	78分 カラー アニメ	広大な米軍基地をかかえ、実践さながらの演習が続く現地沖縄から「再び戦争の悲劇をくりかえしてはならない」という思いがわきおこりました。その思いをうけとめ、沖縄県民の全面的な協力を得て完成しました。そして、沖縄戦を真正面から描きながら「いかに死んだか」ではなく「いかに生きたか」を「かんからさんしん」に託して語りかけます。
がんばれスイミー	DVD-116	26分 カラー アニメ	広い広い海の中、サザエサンゴの周りで小さな魚の兄弟たちが楽しく暮らしていました。みんな赤いのに一匹だけ真黒、でも誰にもまけないほど早く泳げました。その名は「スイミー」。ある日、スピード競争をしていたスイミーたちに、大きなマグロが突っ込んできました。驚いて逃げ出したスイミーは仲間とはぐれてしまい……。優良図書として、小学2年生の教科書にも採用されている「スイミー」を映画化。美しいサンゴ礁の海を背景に、ほのぼのとした温かさ、驚き、笑いをふんだんに取り入れ、子どもたちを海の世界に誘います。
消えさらぬ傷あとと火の海・大阪 ※日本語字幕付きご希望の場合は予約時にお申し出ください。	V-9 DVD-4	20分 カラー アニメ	1945(昭和20)年、無差別の大阪空襲の中、逃げまどう人々。多くの尊い命が奪われた。その中で幸子も焼夷弾の破片によって右腕を切り裂かれた。平和を願う子供たちに、戦争体験者の声と実話をもとに、戦争の恐ろしさをアニメーションで描き、人の命と平和の大切さを訴えた作品です。
キクちゃんとおオカミ	DVD-13	45分 カラー アニメ	満州からのつらい引揚げのとき、家族と離れた、幼いキクちゃんを救ったのは1匹のおオカミでした。「野坂昭如戦争童話集」
黒い雨にうたれて	V-52	90分 カラー アニメ	被爆直後の広島に、放射能をたっぷり含んだ黒い雨が降り注いだ。その死の灰の影響は二世、三世にまで及び、今日なお死の影を生き証人たちの背後に投げかけている。アニメ映画「はだしのゲン」で、真の平和を訴えた中沢啓治が、再び制作に取り組んだ長編アニメの佳作。声の出演に西城秀樹など豪華キャストを配し、喜多郎の音楽が感動を盛り上げる。
クロがいた夏	V-41	80分 カラー アニメ	ある日、伸子は、カラスに襲われている親子のネコに会います。思わず助けにはいったのですが、お母さんネコは死んでしまいました。子ネコを連れ帰った伸子ですが、お父さんは許してくれません。でも伸子には、子ネコを捨てることができません。子ネコのお母さんから預かった生命なのですから。やっとお父さんが飼うことを認めてくれたからは、もっと大変でした。なにしろ戦争中だったので人間の食べるものさえ手に入りにくい時代だったのです。クロと名付けた子ネコのおかげで家族の毎日は、それまでの2倍、3倍にも楽しい毎日になりました。でも、ある日突然に…。
原爆ドーム物語	V-17	15分 カラー アニメ	<原爆ドーム>の誕生から現在にいたるまでの物語形式により、原爆被害の惨状を織りこみながら、ドームが見つめてきた戦争と平和を描いています。また、平和を考えるための具体的なアプローチとなるアニメーションビデオでもあります。
原爆の子 (官公庁およびそれに準ずる団体のみ貸し出し)	DVD-94	96分 モノクロ	瀬戸内海の島で教師を務める孝子は四年ぶりに故郷・広島を訪れる。戦後復興の兆しの中、かつての教え子の家庭に目撃したのは未だ残る原爆の惨禍。元使用人の岩吉命さんに偶然出会った孝子は、その窮状に胸を打たれ、岩吉の孫を島に連れ帰ることを申し出るが――。1945(昭和20)年8月6日、広島に原爆第一号が落とされ、20万人を超える犠牲者を出した。その広島の子どもたちが綴った文集「原爆の子」をヒントに新藤兼人が脚色、監督した、近代映画協会の第一回自主製作作品。心身に大きな傷を受けつつも、雄々しくけなげに生きていく少年少女の姿を感動的に描く。
心の旅路(日本語字幕)	DVD-109	126分 モノクロ	第一次大戦の後遺症で記憶喪失になった男は踊り子ポーラに助けられる。二人は愛し合い結婚。出先のリハプールで交通事故に遭った彼は昔の記憶を取り戻すが、ポーラと暮らした日々を忘れてしまう。父のあとを継ぎ美業家となった彼を見つけたポーラは秘書として近づき、真実を伝えようか迷うが…。
子供たちの昭和史 第一部 嵐の中の子どもたち	DVD-40	18分 モノクロ	子どもたちの立場、視点で綴った昭和史。巨大な戦争に傷つけられ、踏みこまれた小さな命たちの、忘れてはならない記録。当時の子どもたちが口ずさんだ歌やラジオ放送の録音など、昭和史前半の子どもたちの暮らしをマンガ、イラストも入れてわかりやすく構成。
子供たちの昭和史 第二部 戦火の中の子どもたち	DVD-41	17分 モノクロ	子どもたちの立場、視点で綴った昭和史。巨大な戦争に傷つけられ、踏みこまれた小さな命たちの、忘れてはならない記録。当時の子どもたちが口ずさんだ歌やラジオ放送の録音など、昭和史前半の子どもたちの暮らしをマンガ、イラストも入れてわかりやすく構成。
さくら隊散る (官公庁およびそれに準ずる団体のみ貸し出し)	DVD-95	112分 カラー	第二次世界大戦中、演劇、映画などを挙国一致の体制下に置くべく、日本移動演劇聯盟が結成された。「新築地」「新協」両劇団の強制解散後、活動の場を失った丸山定夫ら新劇人は移動演劇隊「櫻隊」を組織し、日本各地の巡演の旅に出る。東京大空襲により、疎開を余儀なくされた櫻隊の行き先は広島、そして運命の日、1945(昭和20)年8月6日、原爆投下。爆心地から程遠からぬ所にいた櫻隊の9名のうち、丸山、園井恵子、高山家三、仲みどりの4名は救助されるが、それは新たな悲劇の始まりだった。「原爆の子」以来、しばしば核問題に取り組んできた新藤兼人監督が、記録映像や証言と再現場面を織り混ぜた手法で、原爆の災禍に新たな光を当てた問題作。
さなえさんのでー神戸空襲とわたしの人生 ー 手話語り(字幕あり、音声なし)	DVD-97	27分 カラー	神戸空襲で右腕を失った石野早苗さんの一生を描いた絵本「さなえさんのでー」を手話語りで表現しています。
さなえさんのでー神戸空襲とわたしの人生 ー 手話解説(字幕あり、音声なし)	DVD-98	21分 カラー	「さなえさんのでー」に登場するなじみのない言葉や当時の時代状況をわかりやすく手話で解説しています。
山河遥かなり(日本語字幕)	DVD-111	104分 モノクロ	第2次大戦直後のベルリン。アウシュビッツで母と離れ離れになったチェコの少年が、記憶を失い失語症の状態で国連救護所の車から逃走。たまたま出会った米兵に拾われ、一緒に生活しながら人間性を取り戻していく過程と母親との再会までを描く。
The A-bomb ヒロシマで何が起ったか (日本語・英語音声選択可)	DVD-67	46分 カラー	広島原爆を『熱線』被害、『爆風』被害、混乱を極めた『救護活動』、長期にわたる『放射線』被害の4項目に分け、当事者の証言インタビューを織り交ぜながら、原爆を知らない若い世代にも分かりやすい内容で伝えています。原爆投下直後から現れた急性放射線障害や、数年経ってから出てくるガンなどの症状、そして「最も若い被爆者」といわれる原爆小頭症患者の現状まで盛り込み今も続く放射線被害の実態にも触れています。
終戦の日平和祈念事業 戦争体験講話 「いま”伝えたい”95歳、絵筆で戦争と平和を語り継ぐ〜」(一部字幕あり)	DVD-99	約28分 カラー	ピースおおさかが製作した空襲体験者の証言DVD。大阪市此花区の島屋尋常小学校を卒業し、汽車製造に勤めていた95歳の体験者が、空襲の様子や平和に対する思いなどについて語ります。

十六地蔵物語 —戦争の犠牲になった子どもたち— ※日本語字幕付きご希望の場合は予約時にお申し出ください。	V-10 DVD-5	27分 カラー アニメ	終戦の1年前の1944(昭和19)年9月、大阪市の南恩加島国民学校の3・4年生が徳島県真光町に集団疎開をしました。国内各地に空襲が始まり、国は将来の兵士を確保するためと、国民学校(小学校)3年から6年生の子どもたちを疎開させることを、国の政策としたからです。学童疎開に行き、犠牲となった子どもたちの姿を通して、戦争の悲惨さについて考えるアニメ作品です。
証言・私の戦争体験—第2集—	V-13	60分 カラー	1945(昭和20)年8月15日が遠くなればなるほど、戦争体験を語る人の数が減っていく一方で、戦争を知らない大人や子どもが増え、戦争体験の風化が指摘されています。戦争体験者が語る真実の声を聞くことによって、より身近に戦争をとらえ、そこから今の時代に生きる意味を考えてほしいと思います。
証言・私の戦争体験—第3集—	V-14	60分 カラー	1945(昭和20)年8月15日が遠くなればなるほど、戦争体験を語る人の数が減っていく一方で、戦争を知らない大人や子どもが増え、戦争体験の風化が指摘されています。戦争体験者が語る真実の声を聞くことによって、より身近に戦争をとらえ、そこから今の時代に生きる意味を考えてほしいと思います。
焦土と化した大阪	V-11	27分 カラー	1944(昭和19)年12月から終戦の前日まで、大阪は50数回の空襲で、街は焦土と化しました。終戦の翌年の4月から5月にかけて、アメリカ軍が撮影した貴重なフィルムをビデオに編集したものです。
昭和子どもキネマ 第一巻	DVD-42	115分 モノクロ	敗戦から立ち上がり、未来を信じて、その時その時を精一杯生きていたあの頃、貧しくとも、子ども達は皆、生き生きとして輝いていた！ 子供たちを通して、昭和の時代が、懐かしい映像と共に、「あの日あの時」の記憶が鮮やかに甦ります。 「こどもグラフ」第一号～第八号 「こどもニュース」No.2～No.6 「昭和子ども向けニュース映像」
昭和子どもキネマ 第二巻	DVD-43	119分 モノクロ	敗戦から立ち上がり、未来を信じて、その時その時を精一杯生きていたあの頃、貧しくとも、子ども達は皆、生き生きとして輝いていた！ 子供たちを通して、昭和の時代が、懐かしい映像と共に、「あの日あの時」の記憶が鮮やかに甦ります。 「こども議会」 「名探偵ヒロシ君」 「新しい教室」 「機関車小僧」
昭和子どもキネマ 第三巻	DVD-44	124分 モノクロ	敗戦から立ち上がり、未来を信じて、その時その時を精一杯生きていたあの頃、貧しくとも、子ども達は皆、生き生きとして輝いていた！ 子供たちを通して、昭和の時代が、懐かしい映像と共に、「あの日あの時」の記憶が鮮やかに甦ります。 「鶴と子供たち」 「水晶山の少年」 「ああこの一球」
昭和子どもキネマ 第四巻	DVD-45	96分 モノクロ	敗戦から立ち上がり、未来を信じて、その時その時を精一杯生きていたあの頃、貧しくとも、子ども達は皆、生き生きとして輝いていた！ 子供たちを通して、昭和の時代が、懐かしい映像と共に、「あの日あの時」の記憶が鮮やかに甦ります。 「流れ作業」 「小売店の仕事」 「ラジオの役割」 「わたしたちの新聞」 「光にたつ子供たち」
昭和子どもキネマ 第五巻	DVD-46	91分 モノクロ	敗戦から立ち上がり、未来を信じて、その時その時を精一杯生きていたあの頃、貧しくとも、子ども達は皆、生き生きとして輝いていた！ 子供たちを通して、昭和の時代が、懐かしい映像と共に、「あの日あの時」の記憶が鮮やかに甦ります。 「消えた仔牛」 「ぼくらの教室」 「朝風に乘って」
昭和子どもキネマ 第六巻	DVD-47	94分 モノクロ	敗戦から立ち上がり、未来を信じて、その時その時を精一杯生きていたあの頃、貧しくとも、子ども達は皆、生き生きとして輝いていた！ 子供たちを通して、昭和の時代が、懐かしい映像と共に、「あの日あの時」の記憶が鮮やかに甦ります。 「清らかに美しく」 「ボンせんべい」 「谷間の少女」
地雷を踏んだ象[モーターの物語]	V-47 DVD-107	24分 カラー	“ゾウが地雷の犠牲になった！”このニュースはタイの人々に衝撃を与えました。タイの人々にとって象は、“神の使い”であり“深い絆”で結ばれた、かけがえのない動物です。1999年夏、タイとミャンマーの国境で地雷を踏み、左の前足首を失ってしまった雌のアジア象・モーター。“モーター”とは“緑の女(ひと)”の意味。“もう一度、自由に森の中を歩けるようにしてあげたい…！”モーターの飼い主で、森と一緒に木材を運搬する仕事をしているソムワン君も本当に心配そうです。“ボクの兄弟なんだ…”地雷を踏んで2週間後、タイにある世界で初めてできた象病院で、モーターの大手術が始まりました。病院には村人やお坊さん、子どもたちも詰めかけています。体重3トンのモーターを吊り上げるためにつくられた特大の手術台、その上のモーターには70人分の麻酔薬が射たれています。象のように大きな動物に全身麻酔をかけて手術を行うのは、世界でも初めて。大変難しい手術です。果たしてモーターは…。
白い町ヒロシマ	V-48 DVD-31	105分 カラー	学童疎開中に広島原爆で、母と姉・弟を失った作者の実体験を描いた同名児童文学を映画化。1945(昭和20)年、主人公靖子は家族と離れ学童疎開へ。8月6日、広島へ原爆投下。一瞬にして疎開先の子どもたちは家族を失った。そして子どもたちに真実をどう伝えるか苦悩する教師たち。主人公の家庭が、戦争と原爆によって壊されていく過程を描くことによって、命の尊さを訴える。
しんちゃんのさんりんしゃ	V-21 DVD-54	24分 カラー アニメ	伸ちゃんとおおやんはだいの仲良しです。三輪車の絵本をみてはたのしくあそんでいましたが、君ちゃんのお父さんが戦争で死んでからはあそびなくなり、ひとりぼっちになった伸ちゃんでしたが、兵隊に行くことになったおじさんが三輪車をもってきてくれました。伸ちゃんはおおやんごびで「君ちゃん、さんりんしゃだよー」とさっそく君ちゃんの家に行くとおおやんは「いいねえ」といって、またなかよくあそびはじめました。伸ちゃんは、君ちゃんと三輪車で水の上をはったり空をとんだりする夢をみました。8月6日朝も、二人はあそびにでかけましたが…。

世界ウルルン滞在記 戦場で傷ついた子どもたち ～ドイツ国際平和村の10年～	DVD-25	97分 カラー	ドイツ国際平和村は、世界各地で続く紛争や内戦で傷ついた子どもたちを受け入れ、治療を施し、これまでに54カ国2万8000人の幼い命を救ってきた。その10年間の記録映像。 「平和村との出会いとアンゴラの子どもたち」 「9.11・世界同時多発テロとアフガニスタンの子どもたち」
世界ウルルン滞在記 忘れない！戦場で傷ついた子どもたち ～ドイツ国際平和村の記録～	DVD-70	98分 カラー	ドイツ国際平和村について取り上げたDVD第2弾。 「平和村16年間の記録」 「平和村と日本人ボランティア」
戦後日本の原風景 Vol. 1 都民たちの戦場 ～東京大空襲～	DVD-84	47分 カラー	1945年3月10日。アメリカ軍のB29の大編隊で深夜の東京に襲来。焼夷弾を雨と降らせた。戦闘員も非戦闘員もない無差別じゆうたん爆撃である。深川を中心とする東京下町は焼け野原となった。そのとき火の雨をかいぐって命からがら逃げのびた作家の早乙女勝元さんは、恐怖の一夜が明けて隅田川を埋めつくした死体を見た。「勝元、よく見ておけ。これが戦争だ」と言ったその時の父の言葉が忘れられない、と語る。 東京は敗戦までに実に130回もの爆撃を受けて壊滅。そして8月15日、敗戦を迎えた。9月になるとアメリカ軍の進駐が始まりマッカーサーが焼け残ったアメリカ大使館に占領の旗をたてた。戦後の日本がスタートした。焼け跡のバラックに暮らす人々の瓦礫の山の片付けが始まり、人々は配給に列をつくる。 破壊的打撃を受けた東京の姿が戦争というものの恐ろしさ、むなしさを雄弁に物語る。
戦後日本の原風景 Vol. 2 壊滅した商都 ～大阪大空襲～	DVD-85	47分 カラー	太平洋戦争末期、大阪は超空の要塞と呼ばれたアメリカの爆撃機B-29の爆撃によって壊滅した。爆撃は1944年12月19日から敗戦前日の45年8月14日まで50数回に及び、100機以上の大規模な空襲は8回にのぼった。翌1946年米戦略爆撃調査団が写し出した大阪は当時の状況をよく物語っている。大阪駅から難波の高島屋まで見通せる一面の焼け野原、繁華街の心齋橋、ビジネス街の船場、本町も瓦礫の山。御堂筋から大阪城まで土蔵のみ残る光景は異様である。阪急、そごう、大丸といった百貨店、迷彩色を施した大阪ガスビルが、かろうじて現在の姿を残している。一方、当時の市民は見る事が禁じられていた陸軍造兵廠。今は大阪城公園、ビジネスパークに変身したが、広大な土地にその無残な姿をさらしている。 映像は大空襲の跡をたどりながら、戦後の復興の姿も映し出す貴重な記録となっている。
戦後日本の原風景 Vol. 3 ヒロシマが消えた日 ～人類最大のあやまち・原爆～	DVD-86	77分 カラー	1945年8月6日午前8時15分。アメリカの爆撃機エノラゲイは広島に一発の原子爆弾を投下した。当時日本の敗戦は色濃く東京をはじめ大都市、中小都市は連続の爆撃で焼け跡と化していた。しかし広島は8月6日まで新型爆弾の実験地として温存されていたのである。 原爆の炸裂によって爆心地から2キロ以内の建物は全壊全焼、時計の針は8時15分を指したまま止まった。人も建物も瞬時に爆風に吹き飛ばされ熱線に焼かれた。3,000℃を超える熱線は住友銀行の石段や万代橋などに人や車の影を焼き付けた。米戦略爆撃調査団は、こうした当時の状況を7か月後克明に映像に収めた。人類がこれまで経験したことのない惨害。放射能の後遺症は、被爆者を半世紀たった今も苦しめている。今日20倍の核兵器を持つ世界にあって、被爆者の証言を織り込んでの広島検証は、一層重要性を増している。
戦後日本の原風景 Vol. 4 引き裂かれた長崎 ～人類最大のあやまち・原爆～	DVD-87	75分 カラー	1945年8月9日午前11時02分。広島に次ぐ史上2番目の原子爆弾が長崎に投下された。高度9,600メートルから投下されたプルトニウム爆弾は浦上地区の上空500メートルで炸裂した。その瞬間3,000℃から4,000℃にも及ぶ強烈な熱線と1平方メートル当たり10トンにものぼる爆風が地上のすべてに襲いかかった。爆心地では0.2秒から0.3秒の間に建物、人間が焼き尽くされたという。米戦略爆撃調査団は敗戦の年の11月、長崎原爆の“効果”を調査している。空から見た長崎はまさしく死の街。巨大なハンマーで叩き潰したような小学校の鉄骨のコンクリートの校舎。アメ細工のようにひしゃげた工場の鉄骨の屋根。恐るべき原爆の破壊力である。被爆した人々の傷を調査のカメラがなめるように映し出す。その中の何人かが存命していた。ケロイドと後遺症に苦しむ生き証人たちの言葉と廃虚の映像が、核兵器の根絶を世界に訴えかける。
戦後日本の原風景 Vol. 5 米軍を迎えたヨコハマ	DVD-88	47分 カラー	米軍の日本占領は横浜から始まる。 連合軍最高司令官マッカーサー元帥は1945年8月30日厚木に降り立ち、横浜に入った。 横浜市はこの年の5月29日、B29の猛烈な空襲によって壊滅状態となっていたが、港湾施設と港周辺のビルなどはほとんど無傷で残っていた。それらは全て占領軍によって接收され占領の拠点になった。そのため横浜の戦後復興は大幅に遅れたという。 しかし米軍を迎えた横浜の表情は意外に明るい。外国人とは昔から馴染み深かったハマっ子たちは、敗戦も「これで昔のハマに戻れる」と受け止めていたと斎藤秀夫さんは言う。そんな横浜の人々の表情と生活を米軍の撮影班は克明に記録している。モノクロフィルムだが、敗戦後わずか2週間という生々しい貴重な映像である。
戦後日本の原風景 Vol. 6 ガレキの港町・神戸	DVD-89	47分 カラー	神戸は1945年、東京、名古屋、大阪に続くB29による大都市への大量無差別絨毯爆撃によって灰塵に帰した。中でも神戸の被害率は最も高く、53万人が罹災。 映像は3月17日神戸の西半分が全焼した地域を神戸タワーの上から360度のパンで映し出す。一面の焼け野原は戦争と前年の凶作で未曾有の食料難であったために、ビル街も繁華街も畑と化している。 また6月5日の空襲で東半分が壊滅した三ノ宮、海岸通りもガレキの山である。量一枚に10発もの焼夷弾が突き刺さった。当時中学生で神戸に住んでいた作家の野坂昭如氏は「火の海の中で目の前に雨後の筍のごとく焼夷弾がずらりと落ち、不発でなければ死んでいただろう」と語る。 戦争中、神戸は重要な軍需産業や工業地帯を持ち、飛行機や軍艦を製造していた。明石、鳴尾、尼崎の工場の残骸も無残である。
戦後日本の原風景 Vol. 7 京都にもあった戦後	DVD-90	47分 カラー	日本の大都市が灰塵に帰した中で、京都は唯一戦災を免れた都市である。しかし、軽微だったとはいえ空襲は受けている。烏丸通りに防空壕が並び、五条、堀川、御池通りでは建物疎開が行われた。 この京都は原爆投下の候補地であった。対象から外されたのは、ポツダムに原爆実験成功の報告があった1945年7月、スチムソン陸軍長官が命令を下したからだといわれる。 この映像が撮影されたのは1946年。敗戦から9か月後とは思えない華やかさがある。車折神社の三船祭や上御霊神社の御霊祭が復活し、多くの修学旅行生が訪れている。調査団は意識的に日本の伝統的なものを写しており、「ノーマア・キョウト」とはならなかった平和の喜びが伝わってくる。 一方府下には、無鶴軍港もあり、多くの被害を受けた。機雷で沈没した船の中に今なお謎を秘める事件の浮島丸が写っている。 そして夫や息子を求めて佇んだ「岸壁の母」の棧橋にソビエトからの引き揚げの復員兵の姿がある。食料難と共に京都にも戦後があったのである。
戦後日本の原風景 Vol. 8 本土最前線・九州	DVD-91	47分 カラー	東洋一といわれる製鉄所や航空工廠があった九州への米軍の空爆は猛烈だった。 1944年6月16日、まだ米軍が南方に基地を持つ前、九州はB-29による戦略爆撃を受けた。発進基地は、中国の成都であった。はじめて、超空の要塞B-29の存在に、日本人が驚いた。 日本のどこよりも早く軍需産業の拠点を攻撃した米軍は、1945年に入って沖縄作戦を支援するため、特攻の基地である飛行場を狙う。「カミカゼ」と恐れられた特攻隊員たちの基地である。人間爆弾となって飛び立つて行く先輩を見送った鎌田定夫さんの話は、切実に戦争の残酷さを思わせる。 やがて九州全土にわたって住宅地が焼かれて行く。人々の戦意を失わせるのが目的だった。そして長崎への原爆、敗戦。 これらの映像群の中には、狂気の戦いのあとの他に、炭鉱など市民の暮らしにもカメラの目が向いたものもある。 これらの空爆のあとを克明に記録した映像から、その経緯を探り、被災した人々の声なき声を読み取る。戦争が終わって安堵した人々の表情に、平和への誓いを新たにする。

戦後日本の原風景 Vol. 9 瀬戸内の戦場	DVD-92	75分 カラー	1945年4月沖繩に上陸した米軍は、圧倒的な制空権を持って、その背後の補給基地であった九州、瀬戸内からの支援を断ち切るために様々な形の空襲を行っている。 B-29ばかりではなく、艦載機も含めた空襲は、機雷投下なども含め、戦後に長く惨禍を残した。瀬戸内海の空襲の中心は、何といても連合艦隊の中枢があった呉。映像には、半ば沈没した戦艦「日向」「伊勢」、横転した航空母艦「天城」、人間魚雷「蛟龍」など無残な姿も映し出されている。 この海軍基地を支えるために、瀬戸内海沿岸には呉海軍工廠はじめ多くの軍需工場や石油基地があった。徳山、宇部、光、下松、岩国、水島、新居浜など、瀬戸内を取り巻く工業地帯に、調査団は足を運んでいる。また岡山、水島、高知、松山、今治の基地、工場、それに戦後の生活の断片も記録されているが、広島大竹島の引き揚げ風景や、松根油の製造状況など、日本人では撮ることが出来なかった、貴重な1946年当時の素顔が映し出されている。
戦後日本の原風景 Vol. 10 オキナワの軌跡 ～33万島民の悲劇の記録～	DVD-93	85分 カラー	日本で唯一、住民を巻き込んだ戦闘のあった沖縄戦。アメリカ軍は、1944年10月10日と1944年3月23日の空襲に引き続き、まず慶良間列島を攻略。4月1日、バックナー司令官率いる第10軍は1400隻もの大艦隊で、沖縄本島に上陸した。 10万の日本軍沖縄守備兵力に対し、米軍は上陸補給合わせて54万人という大軍団であった。米軍はその日のうちに読谷飛行場と嘉手納飛行場を占拠。4月3日には本島を南北に分断して日本軍を北へ南へと追い詰める。 激しい戦闘の中で住民の集団自決という悲劇も起こった。そして、多くの難民となった人々の、収容所を転々とする戦後が始まる。 一方、戦闘に巻き込まれた人々は、日本軍とともに首里から摩文仁まで追い詰められ悲惨な最後を遂げる。少年や少女の学徒隊もいた。民間人の犠牲は10万人とも15万人ともいう。当時9歳で軍国少年だった高宮城繁さんと当時19歳で義勇隊だった渡慶次ミツ子さんの壮絶な話は、映像の迫力を上回る。 1972年5月15日、沖縄は日本に復帰した。しかし県民33万人の心の傷は、癒されていない。
せんせい ～もうひとつの被爆・入市被爆～	DVD-35	103分 カラー	1945(昭和20)年8月9日、原爆投下の翌日長崎市に入り被爆し、「急性骨髄性白血病」により32歳の若さでこの世を去った、元長崎市立山里小学校教諭山口竹子さんをモデルとして、子ども達とのふれあい、彼女の死を通して平和の大切さを描いたものです。
戦争ー子どもたちの遺言ー	V-29	53分 カラー	戦争の最大の犠牲者はいつも子どもたちだった。死んでいった子どもたちの声が、叫び声が聞こえないだろうか？ 広島・長崎の、そしてアウシュビッツの子どもたちのあの声が。
戦争は世界でどう語りつがれているか	V-3	30分 カラー	第2次世界大戦から半世紀、戦争はいま、世界でどう語り継がれているのでしょうか。世界の平和ミュージアムをいくつか訪ねてみました。
戦中・戦後昭和の暮らし①	V-43	45分 モノクロ	「銃後憂ひなし第一篇」昭和14年「銃後憂ひなし第二篇」昭和14年「名古屋銃後便り春の巻」昭和16年
戦中・戦後昭和の暮らし②	V-44	50分 モノクロ	「燈火管制」昭和15年「防空消防」昭和17年
戦中・戦後昭和の暮らし③	V-45	44分 モノクロ	「工場鉱山の防空」昭和14年「燃えない都市」昭和13年
戦中・戦後昭和の暮らし④	V-46	47分 モノクロ	「家計の数学」昭和21年「日本取れたれど」昭和24年
戦場に行く ①民族紛争の真実	V-55	20分 カラー	かつてユーゴスラビアといわれた国の一部である、ボスニア・ヘルツェゴビナの内戦を1993年2月～1995年10月にわたり取材。
戦場に行く ②日本人が見た国連・PKO	V-56	20分 カラー	国連のソマリアでの1992年4月から1995年3月の平和維持活動を1993年7月に現地取材した記録。
戦場に行く ③闘う少年兵たち	V-57	20分 カラー	今現在、世界の戦場で闘っている子どもたちは約30万人。戦争で親を失い、生きる術を求めて入隊した6歳から14歳までの子どもたちで、武器の小型化、軽量化が、少年兵の年齢を引き下げているというのが現実です。
ぞう列車がやってきた ※バリアフリー版(副音声・日本語字幕付き)ご希望の場合は予約時にお申し出ください。	DVD-73 (デッキ再生推奨)	80分 カラー アニメ	象の命を守った人々のあたたかい心が伝わる感動の実話物語。 戦争中、たくさんの動物が殺されました。20頭いた象も殺され、残ったのは名古屋東山動物園の象2頭だけでした。終戦後子どもたちの「象に会いたい」という熱い願いが大人たちを動かし、東京をはじめ全国から「ぞう列車」に乗って子どもたちが東山動物園にやって来ました。
疎開した40万冊の図書	DVD-65	102分 カラー	1944年から45年にかけて、戦禍を逃れるために日比谷図書館が行った、歴史上例を見ない40万冊の疎開と、それらを救った人々の実話をもとに制作されたキュメンタリー映画。 映画の中では、イラクの図書館で戦争から3万冊の本を守った人の話や、図書館がないという福島県飯館村に全国から5万6千冊の絵本が集まったこと、東日本震災後に移動図書館で市民の心を支える陸前高田市立図書館のことなど、現代の図書にまつわる逸話も登場する。
体験者が語る空襲の証言	V-38 DVD-6 (PC再生不可)	33分 カラー	1945(昭和20)年3月13日の深夜から翌日未明にかけての大空襲で大阪市中心部は火の海となりました。大阪の町は、終戦前日の8月14日まで合わせて50回以上の空襲を受けました。2004(平成16)年3月13日、空襲体験画特別展の開催にあわせて、この悲惨な体験と戦争の実相を次の世代へ語り継ぎ、空襲で亡くなられた犠牲者を追悼するとともに、二度と戦争のない平和な世界を築くために私たち一人ひとりができることは何かを考える機会となることを願って、講演、体験画のスライド上映、体験証言の催しを開催しました。この催しでの体験証言のものをビデオに収録しました。*体験画もあわせてご利用いただけます。(貸出資料一覧の「パネル」のページ参照)
太陽をなくした日	DVD-80	20分 カラー アニメ	セミの鳴き声と、下駄の音が響く1945年8月の広島。子どもたちは商店街の中を走り回って遊んでいる。大人たちは戦争の為に訓練に明け暮れているけれど、それは子どもたちには関係のない事。極々ありふれた子どもたちの日常が繰り返されてきた。そして、原爆が投下された朝も…何もなければ同じ様な時間が繰り返されるはずだった。
凧になったお母さん	DVD-18	45分 カラー アニメ	昭和20年夏、B29が落とした焼夷弾は、街を火の海に変えてしまいました。逃げ惑う人々…そんな中、カッチャンはお母さんに連れられなんとか近くの公園に避難することができました。しかし、火は次第にふたりに忍び寄り、カッチャンの体は熱さでカラカラに。「熱いよ」と訴えて意識を失うカッチャン。お母さんは、自分の体から出る汗や涙でカッチャンの体を潤してあげていますが、体中の水分をすべて与えきったお母さんは…。
小さい潜水艦に恋をした でかすぎるクジラの話	DVD-20	45分 カラー アニメ	南の島の沖合に、一匹のクジラ、クー助がいました。クー助は大きくなり過ぎた体をひどく気にして、女の子となかなか仲良くなれませんでした。ところが、日本軍の潜水艦をクジラだと思いこみ、恋をしてしまうのです。その潜水艦に乗るのは、低い背を気にして女の子に気持ちを抱えられない少年、幸多。彼は、かつて海に落ちたところをクー助に助けられた少年でした。駆逐艦が近づきつつある中で、一途なクー助は再び幸多を救うことに決めますが…。
ちいちゃんのかげおくり	DVD-26	17分 カラー アニメ	空襲のさなか、家族とはぐれてしまった少女が、やがて死んでいく自分の姿を通して、戦争のもたらす悲惨さを訴えます。原作・あまきみこの童話のアニメーションです。

チョッチャン物語 ※バリアフリー版(副音声・日本語字幕付き)ご希望の場合は予約時にお申し出ください。	DVD-8 (デッキ再生推奨)	80分 カラー アニメ	黒柳徹子さんの母親で、チョッチャンこと黒柳朝さん自叙伝をもとに、戦争の時代を家族のきずなを大切に「平和の大切さ」「生命の尊さ」を感動的に描いた作品。
対馬丸—さようなら沖縄—	V-22 DVD-32	75分 カラー アニメ	1944(昭和19)年夏、太平洋戦争が激しくなると、日本軍は本土決戦に備え、沖縄の子どもたちを学童疎開させる命令を出しました。子どもたちは大人の心配をよそに「本土で雪が見られる」などとはしゃぎます。疎開船「対馬丸」は8月21日那覇を出航。22日夜、米潜水艦の魚雷攻撃を受け、多くの子どもたちが対馬丸とともに一瞬のうちに沈んでしまいます。主人公キヨシの運命は…。
手紙	DVD-105	18分 カラー アニメ	タケオは、おじいちゃんのことを苦手だった。いつもあまり笑わないし、怒ったようにものを言うから、きつと自分のことをきらいなのだと思っていた。ある夏の日、そのおじいちゃんが声を殺して泣いていた。その手に一通の手紙をにぎりしめて…。その手紙は、戦争のときにおじいちゃんと同じ戦場にいた友達が、両親に向けて書いたものだった。おじいちゃんは、友達が書いた手紙をタケオに読んでくれた。戦争を生き抜いた祖父と現代を生きる孫の心を通わせたのは一通の手紙だった。原作・宮本輝。
天に焼かれる—絵による証言—	V-18	17分 カラー アニメ	原爆に7人の身内を奪われた金崎晃さんは、歴史の証言者として、被爆後の地獄のような光景を描き続けてきました。血まみれの少年、倒壊した家の前で泣き叫ぶ女性、全身に火傷を負った母と子、そして放射能の恐怖…。原子砂漠と化した市内をさまよい歩きながら、金崎さんが描いたスケッチがいま、絵による証言として鮮烈によみがえります。
天王寺おばあちゃんソウ 春子 最後の夏 (官公庁およびそれに準ずる団体のみ貸し出し)	DVD-121	99分 カラー	国内2番目の高齢アジアソウ・春子は、1950年、まだ戦争の爪痕が残る中、タイから大阪の天王寺動物園に来園しました。まだ2歳だった春子は、当時、熱烈な歓迎を受け、以来、64年間、大阪の人々に愛され続けました。しかし、2013年、夏は炎天下の運動場に出るのを嫌がり始め、冬にはあることが原因で春子の食事を抜く事態が起きるなど、人気の陰で飼育員にとって初めての事態が相次ぎました。そして、2014年、春から夏へと季節が変わる中、春子に大きな変化が起きます。老いと闘いながら、最後の最後までお客さんの前に立ち続けた春子。天国へ旅立つ時までカメラはまわり続けました。
チャップリン・コレクション「独裁者」 (日本語字幕)	DVD-72	126分 モノクロ	1918年の第一次大戦末期、トメニアのユダヤ人兵チャーリーは飛行機事故で記憶を失い入院する。それから数年後のトメニアは独裁者アデノイド・ヒンケルの天下で、ユダヤ人排斥を行っていた。退院したチャーリーは生まれ育ったユダヤ人街で元の床屋の職に戻るが…。
東書ニュービデオソフト 小学校道徳④ 東京大空襲の中で ※指導書付き	DVD-117	11分 カラー アニメ	1945(昭和20)年3月10日未明。東京は爆撃機B29による空襲を受けていました。町が火の海で赤く染まる中、生まれたばかりの赤ん坊と患者を担架にのせて運び、命を守った医者や看護婦たちがいました……。 一晩で約26万軒もの家が焼かれ、8万人以上もの死者を出した東京大空襲を生き延びた、武者みよさんの実話をもとに、小学校高学年向け道徳教材として制作されました。戦時下での出来事を通して、一人一人の命の重み、かけがえのない命の尊さについて考えさせられます。
東書ニュービデオソフト 中学校道徳⑤ 六千人の命のビザ ※指導書付き	DVD-103	13分 カラー アニメ	第二次世界大戦中、海外駐在の外交官であった杉原千畝は、苦悩の末、リトアニアでユダヤ人をナチスの迫害から救うために、国の方針に背き、自分の家族の安全を気遣いながらビザと書類を発給し、約6,000人の命を救いました。 杉原千畝の苦悩と努力を描いた作品。中学校向け道徳教材として制作されました。「国際理解、国際貢献」のほか、人間愛の精神や生命の尊重などの道徳的内容が含まれています。
東書ニュービデオソフト 中学校道徳⑦ ひろしまのエノキ ※指導書付き	DVD-104	10分 カラー アニメ	広島市の病院に植えられているエノキは、傷病兵たちの憩い場でした。しかし、原爆によって焼かれ、戦後、何もなくなった病院跡には焼けぼっついのようなエノキがぼつんと立っていました。復興するにつれて、原爆でえぐられたエノキのうろに、ゴミを捨てる人が出てきました。「このままでは枯れてしまう。僕らで守ろう」と始めた4人の小学生の活動は、やがて、町の人たちも協力するようになっていきました。 実話をもとに描かれた作品。中学校向け道徳教材として制作されました。被爆エノキを通して、自然環境を守ることの大切さ、生命や自然に対する「感動、畏敬の念」などを育みます。
道徳・名作シリーズ⑥ 野ばら (日本語字幕選択可) ※CD-ROM付き (教材ビデオ附属指導書【PDF】、各場面切り出し画像集【Power Point、PDF】)	DVD-102	11分 カラー アニメ	国境の石碑を守る、2つの国の兵士たち。2人にはいつしか友情が芽生えますが、国同士が戦争を始めて…。「友情とは何か」というテーマとともに、戦争で奪われる命について、子どもたちに問題を投げかけます。 子どもの豊かな心を育み、自ら学んで考えるといった「生きる力」を育てる「道徳・名作シリーズ」小学校高学年向け作品です。授業に役立つ資料として、指導書や各場面切り出し画像集なども収録されています。
トビウオのぼうやはびょうきです	V-23 DVD-50	19分 カラー アニメ	いつも元気なトビウオのぼうやは、お母さんと空を飛ぶ練習をしていました。サンゴ礁の海の上を飛ぶトビウオの親子。「ぼく、とんだ、とんだ!」と大喜びのトビウオのぼうや。その時、突然火の玉のような大爆発がおこり、海の底はめっちゃめっちゃになりました。友達は死に、トビウオのぼうや達のお家もなにもかも壊されてしまいました。そして、空から白い灰がいっぱい降ってきたのです。それをかぶってしまったトビウオのぼうやは、病気になるまで寝たきりになってしまいました。もうお父さんやお母さんと一緒に空を飛ぶことはできないのでしょうか。いったいなぜこんな事になってしまったのでしょうか。
夏服の少女たち ヒロシマ・昭和20年8月6日	V-40 DVD-7	30分 カラー アニメ	1945(昭和20)年8月6日、広島の上空で炸裂した原爆は20万人もの人々の命を奪いました。そしてなんの罪もない多勢の若者たちも原爆の犠牲となったのです。この朝、旧広島県立第一高等女子学校一年生220人は生徒動員で市街の建物取り壊し作業に従事中被爆、全員が亡くなりました。二年生以上の上級生は既に軍需工場に動員されていて不在、一年生は残された最後の労働力として爆心地間近で作業中だったのです。この一年生が入学した1945(昭和20)年の日本は敗戦目前で物資が極端に不足していました。せっかくあこがれの女学校に入学したものの制服も手に入りません。少女たちは母親たちのお古をほどこいて夏用の制服を縫うことにしました。そしてようやく完成した夏服を着た喜びもつかの間、少女たちは8月6日を迎えます。この少女たちのアニメ物語と原爆でポロポロに燃えた少女の夏服を今なお形見として守り続けている年老いた母親たちのドキュメンタリーとを合わせて、忘れることのできない原爆の悲劇を感動的に描きます。
長崎の記憶 幻の原爆フィルムで歩く長崎	DVD-69	37分 カラー	ハイビジョン処理され、より詳細な状況が確認できるようになった原爆映像と現在の映像を重ねながら、被爆者の証言を交え、当時を振り返ります。修学旅行の事前学習などの資料としても活用できます。
ながさきの子うま	DVD-51	27分 カラー 人形アニメ	昭和20年、長崎の浦上天主堂の鐘が聞こえる農家で、とても元気のいい子馬が生まれました。名前を「いなさ号」といいます。夏のある日、広島にすごい爆弾が落ちて街は全滅したと、カラスが教えてくれました。沖繩もやられ日本中が戦場になろうとしています。「私は、大変な時にこの子を産んでしまった。」母馬は、爆弾の落ちてこない山にいなさ号を連れていこうと考えます。山で暮らすと聞いて喜び跳ねるいなさ号。その時、まるで太陽がまるごと落ちたような光と大爆発。いなさ号は爆風で吹き飛ばされた馬屋の下敷きに。母馬は必至でいなさ号を助け出しました。しかし本当は母馬も、動けないほどの大怪我をしていたのです。
涙に浮かぶ記憶 ～戦争を次世代へ伝えて～ (日本語字幕選択可)	DVD-82	28分 カラー	数年前、修学旅行で長崎を訪れた中学生が語り部の被爆者に「死に損ない」とののしる出来事がありました。そのことを切っ掛けと、ある中学3年生の女の子が、「戦争を次世代へ伝えて」という人権作文を書き、法務大臣賞を受賞しました。この作品は、その作文を脚色し映像化したものです。

にんげんをかえせ (ビデオテープは大阪府内のみ貸し出し) (DVDは日本語・英語音声選択可)	V-26 DVD-108	20分 カラー	11フィート映画運動三部作のうち第一作です。広島・長崎に投下された原爆キノコ雲、原爆投下後、米軍戦略爆撃調査団が撮影した広島・長崎市街地のようす、被爆者の姿など当時の惨状を再現。原爆の恐ろしさ、悲惨さを具体的に表現しています。
猫は生きている	V-36	75分 カラー 人形アニメ	1945(昭和20)年3月10日夜、米軍のB29が東京を炎でなめつくしました。昌男の家ではお母さんが妹2人を連れて外へ飛び出しますが、すでにあたりは火の海、軒下に住みついていたのら猫の家族も、母猫「稲妻」を先頭に必死の避難を始めます。戦火の中、昌男は、そしてやさしいお母さんは…。猫の「稲妻」の家族は助かるのでしょうか。
はだしのゲン	V-49	90分 カラー アニメ	広島での被爆体験をテーマにした同名の劇画を基に制作されたアニメ。太平洋戦争中の広島で中岡家の人々の生活を中心に始まる。戦争反対を叫びつづけるゲンの父親は軍部から拷問や弾圧をうけ、そのためゲンの一家も非国民呼ばわりされるが、みんなで力をあわせ、明るく楽しい家庭をつくっていた。そんな家庭も8月6日の原爆投下によって一瞬に破壊されてしまう。父、姉、弟を失ったゲンは、残された母親と廃墟の広島で力強く生きようと誓う。
はだしのゲン2	V-50	90分 カラー アニメ	原作者の中沢啓治が私財をなげうって制作した長編アニメ「はだしのゲン」の続編。本作「はだしのゲン2」では、小学校4年生に成長したゲンを中心に、廃墟の広島で原爆孤児たちが、それぞれ悲しみと苦しみを乗り越えて元気に生き抜いている姿が描かれ、観る人の心をゆさぶる。ラストの、母が原爆症に倒れて背負っていくシーンでのゲンの叫びは、子どもだけでなく大人にも力強いメッセージとなっている。
はだしのゲン第一部(実写)	DVD-56	107分 カラー	1945年(昭和20年)8月6日、午前8時15分。ゲンは学校へ行く途中だった。空襲警報がならないまま市内上空に飛来したB29が新型爆弾を投下した直後、強烈な白い閃光が走り、続いて巨大なまご雲がいきなり広がった。ゲンは運良く助かったが、街は猛火と黒煙の中でその姿を一変させていた。
はだしのゲン第二部 涙の爆発(実写)	DVD-57	123分 カラー	原爆によって父、姉、弟を失ったゲンは、被爆直後に生れた妹・友子と母のために食べ物を探して歩き回るのが、人々はピカにやられた者に冷たかった。差別を生み出す被爆の残酷さを描く「はだしのゲン」シリーズ第2作。
はだしのゲン第三部 ヒロシマのたたかい(実写)	DVD-58	128分 カラー	学童疎開していた次兄の昭と予科練に志願した長兄・浩二が帰ってきた。家族みんなで励ましあって生活を始めるが、あらたな悲劇が襲ってくる。幼い妹・友子がすでに原爆症に侵されていたのだ。戦後を力強く生きるゲンの姿を描く「はだしのゲン」シリーズ第3作。
はとよひろしまの空を	DVD-75 (デッキ再生推奨)	21分 カラー アニメ	太平洋戦争末期。家族とかわいがってくれた飼い主の少年を原子爆弾で亡くし、一羽残されたためずの子鳩は、やがてやさしいおす鳩と出会いますが…。焼け野原となった町を必死で生き抜こうとした鳩の姿を通して、あらためて、命とは、平和とは何かを問いかけます。
パパママパイパイ	DVD-37	75分 カラー アニメ	1977年9月27日横浜市で実際に起きた米軍機墜落事故を題材にした、早乙女勝元原作「パパママパイパイ」を映画化したものです。幼い兄弟のいのちを奪った突然の事故。兄弟と仲良しだったおかりさんの目を通して優しく問いかけます。
ハルをさがして	DVD-112	93分 カラー	2012年夏。ノボルは都内で暮らす中学3年生。同じクラスのマサル、ヒロキと冴えない学校生活を送っている。そんなノボルは同じクラスのチエコに秘かに思いをよせている。夏休みになると彼女にも会えなくなってしまう。受験シーズン突入の季節を前になんでもかきかき。ある日、ノボル達はチエコから依頼を受ける。チエコの家族は東日本大震災後、福島から東京に自主避難してきていた。その際に残してきた愛犬ハルが行方不明になっているらしく、一緒に探しに行きたくて欲しいというのだ。ノボル達は淡い期待を胸にチエコとの同行を決める。震災後の福島を舞台に、ひと夏の経験を通して少年少女たちの「成長」という普遍的なテーマを描く。
一つの花	DVD-52	11分 カラー アニメ	「一つだけちょうだい。」これが、ゆみ子のはっきり覚えた最初の言葉でした。まだ、戦争のはげしかった頃のことです。「なんてかわいそうな子でしょうね。一つだけちょうだいと言えば、なんでももらえらると思ってるのね。」「——いったい、大きくなって、どんな子に育つだろう。」まもなく、お父さんが戦争に行く日がやってきました。ゆみ子は、お母さんにおぶわかれ、遠い汽車の駅まで送っていきました。おにぎりを「一つだけ、一つだけ。」とほしがって泣くゆみ子に、お父さんが一輪のコスモスをもってきました。「ゆみ。さあ、一つだけあげよう。大事にするんだよう——。」そして、お父さんは、汽車に乗って行ってしまいました。ゆみ子のにぎっている、一つの花を見つめながら……。十年後。ゆみ子は、お父さんの顔を覚えていません。今、ゆみ子のとんとんぶぎの家は、コスモスの花でいっぱい包まれています。
100ばんめのサル	V-25 DVD-10 (PC再生不可)	20分 カラー アニメ(一部)	九州の幸島に住む子サルが、ふとしたキツカケからイモを洗って食べることを覚えました。砂がとれ、塩味がついておいしい——その食べ方はどどん広がり、ついに百番目のサルにまで伝わります。すると不思議なことに、突然島中のサルたちが、そして海を隔てた他の島のサルたちも一斉にイモを洗うようになったのです。この事実から私たち人間は、愛と平和を伝え合う方法を発見できるでしょうか。
氷雪の門 樺太1945年夏 (官公庁およびそれに準ずる団体のみ貸し出し)	DVD-27	119分 カラー	昭和20年8月玉音放送後の樺太を舞台とした、“北のひめゆり”の感動の実話。ソ連軍の侵攻が迫る中、最後まで電話交換手業務を続けた、真岡郵便電信局の電話交換手9人の乙女の悲劇を描く。
広島原爆 魂の撮影メモ	DVD-83	28分30秒 カラー	幻の原爆と言われた原爆被災記録映画「広島・長崎における原子爆弾の影響」。この映画の生物班の撮影に携わった、カメラマン鈴木喜代治が記した一冊の撮影メモから、当時の広島市の惨状と平和の尊さを伝えます。
ヒロシマ・ナガサキ 核戦争のもたらすもの	DVD-119	46分 カラー	広島・長崎の被爆者は口をそろえて言う。「今、私たちが一番残念に思うことは、原子爆弾が私たちの上に落とされた“あの時”のことでありません。現在に至ってもなお、核兵器がつくられていることです」原子爆弾被爆の体験は決して過去のものではありません。核兵器が巨大化、高性能化した今日、その事実をあらゆる人びとに知ってもらうため、広島市と長崎市が共同企画した記録映画。科学者たちの報告を集大成した書物『広島・長崎の原爆災害』に基づき、あくまでも科学的な視点から、原子爆弾被爆の総合像を描きます。
ヒロシマに一番電車が走った	DVD-11	32分 カラー アニメ	戦地に召集された男たちに代わり、広島市路面電車は10代の少女たちが動かしていた。一瞬のうちに「死の街」と化した広島に電車が走り始めた。被爆体験の手記をもとにつくられた作品。
ヒロシマの記憶 幻の原爆フィルムで歩く広島	DVD-68	35分 カラー	ハイビジョン映像としてよみがえった原爆映像に現在の映像とインタビューを交え、立体的に広島市の記憶をたどります。これから広島を歩く人のためのガイドともなる作品。修学旅行の事前学習などの資料としても活用できます。
負傷した線路と月	DVD-115	15分 カラー アニメ	ある夜、月は線路に声をかけられました。「重い機関車に傷つけられました」月は機関車を叱ってやろうと思って探しました。しかし機関車は「自分も重い荷物のせいで車輪を傷つけてしまいました」と、言いました。そして、次に月は荷物を探しました。荷物は「長い間、機関車に乗せられどこへ行くとも知れず不安です……」いったい誰がわるいのか月は考えました……。小川未明童話集より厳選された作品から、子どもたちの考える力、我慢強さ(忍耐力)と他の人を深く思いやる優しい心を育む内容となっています。

ふたつの胡桃	DVD-15	45分 カラー アニメ	東京に住む小学生彩花。目覚めると、そこは60年前の空襲の絶えない世界でした。「野坂昭如戦争童話集」
ふるさとーJAPAN	DVD-79	98分 カラー アニメ	舞台は31年、東京深川の木場近くの小学校。真面目な学級委員アキラ。明るく快活な転校生志津。ガキ大将だけれど仲間思いのゴン。そんな、当時どこにでもいたような小学校6年生たちが、童謡や唱歌を伝えていくことに情熱を抱く新任の坂本先生の指導のもと、合唱大会にむけて練習に励む。しかし、アキラたちの起こした不祥事で、大会には参加できない事態に。さらに彼ら全員に衝撃を与える悲しい事件が起きるのだった。
ふろたき大将	DVD-78	45分 モノクロ	瀬戸内海の似島にある戦争孤児のための施設、似島学園。戦争中に母を見失ってから浮浪者生活を続けていた少年・徳さんは、その施設の学園長・森先生に連れられ、学園へやってきた。読み書きも計算もできなかった徳さんはみんなから“ノロク”と呼ばれ馬鹿にされる。そんな徳さんだったが、ただ一つ、火をおこすことだけは得意だった。そこで森先生は、徳さんを学園の風呂焚き係の大將に任命するが…。
Paper Cranes Story ～ケンタとマイコ～	DVD-77	27分 カラー アニメ	毎年8月の広島、長崎の原爆記念日に、世界中から何十万という数の千羽鶴が広島、長崎に送られてくる。千羽鶴は平和の象徴として、世界に誇れる素晴らしい日本発の文化である。千羽鶴は希望や平和への願いを込めて一羽一羽丁寧に折られていく。これはそんな“想い”により命を授かった折り鶴少年 ケンタとマイコの物語。
ボクとガク あの夏のものごと (日本語字幕選択可) ※指導書付き	DVD-76	42分 カラー アニメ	小学5年生の希望と岳は、近所の美代おばあさんと親しくなり、かつての友達や地域、八幡大空襲のことを教わります。2人の子ともおばあさんとの交流を描きながら、子どもの人権や、地域で育む人権文化に目を向け、また次代に語り継ぐものとして「戦争と平和」についても描いています。
ぼくのいる街	V-31	23分 カラー	太平洋戦争末期の1945(昭和20)年1月の空襲で死んだひとりの少年が、現在の繁栄する銀座に現れ、かつての自分の家、遊んだ場所、自分の死んだ場所、母親が空襲で死んだ場所をさまよって歩きます。
ぼくの防空壕	DVD-14	45分 カラー アニメ	お父さんと造った防空壕。そこは戦場に行ったお父さんに会える唯一の場所でした。「野坂昭如戦争童話集」
火垂るの墓(実写映画版) (官公庁およびそれに準ずる団体のみ貸し出し)	V-59	100分 カラー	1945(昭和20)年の神戸空襲で、母を失って、2人きりになってしまった兄妹。一度は親戚の家に世話になりますが馴染めず、2人は横穴で生活を始めます。楽しくスタートした2人の生活でしたが――。
マララ (日本語字幕・英語字幕選択可) ※音声は英語	DVD-61	30分 カラー	2012年10月、パキスタンの少女マララ・ユスフザイはタリバン銃撃された。イスラム社会における女子教育の必要性を訴えて活動していた彼女は、タリバンの標的となっていたのだ。治療のためパキスタンから英国に緊急搬送され、奇跡的に回復。現在は英国に住み、女子教育のための活動を続けている。マララは危険な目に遭いながらもなぜ世界に訴え続けるのだろうか？教育を受ける権利とは？マララ自らの言葉で語るインタビューや、今までの活動の映像から、彼女の信念と素顔を見る。そして教育を受ける価値について、改めて問う。
みなまた海のこえ	DVD-120	40分 カラー アニメ	ベストセラーの絵本「みなまた海のこえ」を映画化。水俣の美しい自然の中で暮らすキツネの目を通し、破壊されていく自然と水俣病に苦しむ人びとを描きます。
未来をください ー戦火の中の子どもたちー	V-60	28分 カラー	今も繰り返される大人たちの争いに巻き込まれて、親や家を、ときには国を失い、教育の機会さえも奪われた子どもたちは、未来を考えることすらできない状況に置かれています。みなさんも一緒に考えてください。
もずやんの大阪ひとつとび！特別編 ～ピースおおさかに行ってきました！～	DVD-64	16分 カラー	ピースおおさかの展示内容をわかりやすく紹介した映像作品。事前学習におすすめです。大阪府広報担当副知事である「もずやん」や、大阪府民共済生活協同組合のキャラクターである「にっこりくん」と「にっこりちゃん」、そしてピースおおさかのキャラクター「ピースバード」も出演しています。
やーさん ひーさん しからーさん 集団疎開学童の証言	DVD-38	41分 カラー	国と日本軍の命令で危険な海を渡り、知らない土地へ集団疎開させられた引率教師と学童たちの戦いである。米軍の魚雷攻撃で、犠牲になった対馬丸の学童たち。攻撃を逃れた学童たちの九州での疎開生活も日々苦難の連続だった。
焼跡、お菓子の木	DVD-16	45分 カラー アニメ	太平洋戦争も終盤に迫った頃のことです。太一は空襲で家をなくしても、いらくおなかを減らしても、笑顔を絶やさずに暮らしていました。ある日、体の弱い友人・春男から1冊の本をもらいます。そこには、“パンの木”1本あればみんなおなかいっぱい食べて暮らしていけると書かれているのです。もしかしたら“お菓子の木”だって……と夢を見る太一たち。しかし、空襲はますますひどくなる一方です。太一たちは逃げ惑い、春男の家にも火の手が迫ります。はたして“お菓子の木”は夢でしかなかったのでしょうか……。
ヤヌシュ・コルチャック ーすべてをこどものためにー	V-42	51分 モノクロ	裕福なポーランド系ユダヤ人の家に生まれながら、その生涯を孤児救済とこどもの教育に捧げたヤヌシュ・コルチャック。反ユダヤ主義の波が全ヨーロッパに広がる時代の中、ポーランド人孤児院とユダヤ人孤児院のふたつの施設を作り、数々の教育書、研究書、童話、戯曲、新聞、ラジオ放送を通してこどもたちの福祉と権利を訴え、自らユダヤ孤児二百余名に同行してリブリンカ強制収容所で非業の死をとげます。ナチスドイツによって撮影された映像(ゲッソーが非常に環境の良い居住区として捉えられている…写された真実とは何なのか?)、ゲッソーを生き延びたコルチャックの教え子たちの証言を交えた貴重な映像が全編を貫きます。すべてをこどものために捧げたヤヌシュ・コルチャックの全人生を丹念に記録したこのドキュメンタリーは、見るものの心を揺さぶらずにはおけません。
予言 (大阪府内のみ貸し出し)	V-27	42分 カラー	10フィート映画運動三部作のうち第二作です。米国国立公文書館から購入した、戦略爆撃調査団の8万5千フィートのフィルムその他、ネバダの原爆実験、核兵器の威力テストの記録フィルムに、原爆症に苦しむ被爆者の現状を交錯させて構成しています。
よみがえれ命の歌声	V-53	22分 カラー	第2次世界大戦のさなか、ユダヤ人強制収容所に響いた子供たちのオペラ。
歴史ー核狂乱の時代ー	V-28	116分 カラー	10フィート映画運動総集編。原爆製造マンハッタン計画を紹介しつつ、第2次世界大戦からベトナム戦争を経て、今日のMX、パーシングII、SS20の配備の実態をえぐり、同時に日・米・南太平洋の被爆者の苦しみ、怒り、そして行動を描きだします。